



発行所  
山形県立寒河江工業  
高等学校 P T A  
山形県寒河江市緑町148  
電話 (86) 4278

**第 80 号**  
令和6年3月3日

## P T A 関連表彰

皆様のおかげをもちまして、今年度、下記のように 4 件もの感謝状・表彰状を頂戴することができました。  
今後も保護者等と教員とが協力し合い、P T A 活動を盛り上げていきましょう。

### 令和 5 年度 山形県立寒河江工業高等学校 P T A 表彰一覧

|   | 表彰種類 | 表 彰 名                       | 表 彰 団 体                | 日付        |
|---|------|-----------------------------|------------------------|-----------|
| 1 | 感謝状  | 山形県立寒河江工業高等学校 茂木真央 様        | 東北地区高等学校 P T A 連合会     | 7 月 7 日   |
| 2 | 表彰状  | 山形県立寒河江工業高等学校 P T A 様       | 一般社団法人全国高等学校 P T A 連合会 | 8 月 25 日  |
| 3 | 表彰状  | 山形県立寒河江工業高等学校寒河江南地区 P T A 様 | 社会福祉法人寒河江市社会福祉協議会      | 10 月 16 日 |
| 4 | 表彰状  | 山形県立寒河江工業高等学校 P T A 様       | 山形県教育委員会               | 11 月 12 日 |

本年度PTA会長を務めさせて頂いておられます早坂と申します。新年を迎え、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。本年もより一層のご繁栄とご発展をお祈りしております。

昨年二〇二三年は、新型コロナウイルスの影響が縮小し、活動制限が全面的に緩和された年でした。その結果、学校行事や部活動が再開され、生徒たちが通常の学校生活を取り戻せたことを心より嬉しく思います。皆様の協力と理解に心から感謝いたします。この光明ある状況を背景に、生徒たちの成長と学びの環境をより一層向上させるために、今年も共に協力してまいりたいと考えております。

## 二〇二三年度を振り返り



PTA会長

早坂 透

生成AIの活用がますます広がりを見せています。これは新たな可能性を切り拓く一方で、我々にとっても新たな課題や問いかけを投げかけています。工業高校は、この先の未来に対応できるような、最新技術への対応を含めた教育が必要だと感じております。最後に感じましたが、学校と保護者の皆様との協力に深く感謝申し上げます。学校は単なる建物ではなく、地域社会との連携や保護者の方々の協力があつてこそ、子供たちが成長し、学びを深めていける場となります。これからも、地域一丸となつて、より良い学び舎を築いていけるよう、心からお願い申し上げます。

二三年には、寒河江工業高等学校が創立六十周年を迎え、盛大な式典が開催されました。歴史ある六十年の中で培われた伝統と誇りを胸に、未来に向けて更なる飛躍を図る決意でいっぱいです。そして、今年二〇二四年には新校舎の完成が予定されており、これも我が校の発展にとつて大きな一歩となります。新たな学舎が生徒たちの成長と学びに一層の活力をもたらすことを期待しております。皆様とともに、これからも寒河江工業高等学校がより一層発展していく姿を見守りながら、共に歩んでまいりたいと願っております。

こつた能登半島沖地震や航空機の事故といった、痛ましい出来事もありました。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。これらの出来事は私たちにとつて大きな戒めとなり、地域社会と共に備え、連携し、支え合うことの大切さを再認識させられる瞬間でもありました。また、昨今は記録的な猛暑や地球温暖化の影響が深刻化しています。持続可能な未来のために、環境問題への取り組みがますます重要となっています。環境教育に一層の力を入れ、生徒たちが地球環境に配慮した行動を身につけるお手伝いをしてまいります。

技術の進化が急速に進む中、一年間ありがとうございました。

## 各専門部より

### 今年度を振り返って

総務部部長 奥山 悦司

今年度はコロナウイルスの影響もだいぶ落ち着いて、PTA活動や学校行事もほぼ開催出来た一年となりました。また昨年より新校舎の建設も始まり、生徒の皆さんや先生方には何かと不便な環境ではありましたが、間もなく完成との事で次年度は最先端の環境で次世代の地域産業を担うエンジニアを育てる教育が出来ることを期待しております。

今年度は寒河江工業高校の創立六十周年記念となり、無事に記念式典を開催出来ましたことを御礼申し上げます。

三年生の皆さんは大変な環境下での三年間でしたが、卒業を迎え進学や就職に向けて準備をしていることと思います。この三年間を乗り越えた皆さんですから、自信を持って社会へ飛び立つてください。最後にありますが、大変な状況

### 一学年を振り返って

一学年主任

菊池 敏宏

この一年を振り返ってみると、四月の入学式ではまだ初々しさが残るフレッシュな新入生八九名を迎えることが出来ました。元気で明るいクラス、真面目で大人しいクラスと個性的な生徒達がそれぞれのクラスにいました。七月の体育祭では様々な種目を通じてクラスの団結力が高まりました。

二学期に入ると、それぞれの人間関係も安定してきて各クラスの個性が更に発揮されて来ました。特に寒工祭ではクラス毎楽しみながら一

況の中PTA活動にご尽力いただきました先生方、PTA役員、保護者等の皆様、全ての関係者の方々に感謝申し上げます。三年間ありがとうございました。

育成部部長 菊池 洋幸

新型コロナウイルスも五類となり、コロナ前の日常に戻りつつある今年度、神輿の祭典や、創立六十周年行事がおこなわれたことは、心から嬉しく思っています。寒工祭では、生徒・保護者の方々の他にOBの方々からも来校していただいたと聞いています。

来年度からは、新校舎でのスタートですね。先輩たちの歴史を胸に、新しい校舎で新しい歴史を刻んでスローガンである「次世代の地域産業を支えるエンジニア」を目指して頑張っていくてほしいです。

最後に、三年間ありがとうございました。入学当初は、いつ収束するかわからない自粛や、制限の中の活動でしたが、こうやって活動が再開される事は、先生方・PTA役員・保護者の皆様のおかげだと思えます。有難うございました。

文教部部長 鈴木 裕司

今年度の文教部は、コロナ感染もだいぶ落ち着きを取り戻した、昨年度よりも活動が増えた一年だったと思います。寒工祭については、昨年度は限定での見学でしたが、今年度は一般開放になり、たくさん保護者の方々にいらしていただきました。各地区PTAのボランティア活動写真も出展していただきました。また、各部の活動や地区PTA活動も、昨年度と比べて様々なことが出来るようになりました。神輿祭りに生徒と共に参加できたことも、たいへん嬉しいことでした。コロナウイルスの影響がなくなつたおかげで、今後の活動はますますやりやすくなると思います。これから保護者の方々には、気軽にPTA活動に参加していただけたらと思います。

最後になりますが、PTA活動にご尽力いただきました先生方、PTA役員、保護者等の皆様、全ての関係者の方々に感謝申し上げます。この新聞も無事に発行することができました。ありがとうございます。



山形県立寒河江工業高等学校入学式

保護者の皆様におかれましては、この一年間、本校の教育活動に対して、物心両面にわたるご支援をいただき、誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

本校は今年、創立六十周年の記念の年を迎え、同窓会、後援会、PTAの皆様の多大なるご尽力を賜りながら、昨年十月に寒河江市市民文化会館において創立六十周年記念式典・記念講演を挙行いたしました。記念式典には、百三十名を超える来賓の方々のご臨席を賜り、厳粛な上にも、暖かな雰囲気の中で、本校の節目の年を祝うことができました。

## 日々のご支援に感謝申し上げます



校長  
舟山 和彦

また、ロンドンオリンピック卓球女子団体銀メダリストである平野早矢香さんの講演も大変素晴らしい、「昨日の自分より一歩前へ」といった演題で、自分の体験に基づいたお話には、生徒たちだけではなく、私たちも大変勇気づけられました。

一方、今年度は本校PTAにとっても非常に素晴らしい年でありました。今年度、これまでの本校のPTA活動が高く評価され、これより挙げます、四つの表彰状をいただきました。

一、茂木真央前PTA会長の昨年度の役員としての活動が評価され、東北高校PTA連合会より表彰  
二、本校PTAのこれまでの活

動が評価され、全国PTA連合会より表彰  
三、本校PTAのこれまでの活動が評価され、山形県教育委員会より表彰  
四、寒河江南地区PTAの今年度の親子ボランティアの活動が評価され、寒河江市社会福祉協会より表彰

コロナウイルス感染症の感染拡大によって、なかなか思ったような活動ができない状況が続きましたが、会長さんをはじめとした役員、会員の皆様のご尽力と、長年本校で培われてきた実直な活動が、今回多くの方々から認められたのだと強く感じております。

先ほども少し触れましたが、昨年の五月からコロナウイルス感染症の扱いが変更され、今年度からようやく学校での様々な活動が従来通り実施できるようになりました。部活動はもちろんですが、本校の伝統である寒河江まつり「神輿の祭典」への参加や、寒工祭での一般公開の再開など、学校の中に生徒たちの笑い声と笑顔が少しずつ戻ってきました。保護者と教師が生徒たちの元気な姿を一緒に見守ることが、PTA活動の本懐であり、コロナ禍という長いトンネルを抜けた今、新校舎で寒河江工業高校の生徒たちが益々輝きますよう、これからも保護者の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

## 総務部

## 令和五年度

## 学校評価アンケート

総務部部長 宇野 秀俊

保護者等の皆様からアンケートに御協力いただきありがとうございます。

概要は次のとおりです。

○保護者等の評価アンケート回収率が九六・五％（昨年度は八五・五％）で、昨年よりも一％回収率が上昇しました。保護者等の御協力に感謝申し上げます。職員の回収率は一〇〇％でした。  
○集計結果の五段階評価において、前年比でマイナスのところもありましたが、保護者等の評価はほとんど三・五以上で高い評価でした。②については新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、残念ながら行うことができない地区もありましたが、行ったら連絡網を使用したことにより③が保護者等、教員共三八の高評価になりました。  
○今後記述頂いた部分も含めて結果を分析し、来年度に活かしていきたいと思います。

### 令和五年度 学校評価アンケートの集計結果【保護者等・教員】

●回収率：保護者等 96.5%、教員 100% 【昨年度保護者等 85.5%、教員 100%】

●各段階に対する評価

5 満足(十分) 4 概ね満足(概ね十分) 3 普通

2 やや不満(やや不十分) 1 不満(不十分) 未回答



#### ①各科(資格取得・ものづくり等)の取り組みはどうでしたか

|      | 5  | 4  | 3  | 2 | 1 | 未回答 | 平均値 | 前年比  |
|------|----|----|----|---|---|-----|-----|------|
| 保護者等 | 43 | 84 | 80 | 8 | 1 | 6   | 3.7 | 0.0  |
| 教員   | 11 | 17 | 8  | 0 | 0 | 0   | 4.1 | △0.2 |

#### ②各学年・各クラスの取り組みはどうでしたか

|      | 5  | 4  | 3  | 2 | 1 | 未回答 | 平均値 | 前年比 |
|------|----|----|----|---|---|-----|-----|-----|
| 保護者等 | 41 | 80 | 91 | 7 | 1 | 2   | 3.7 | 0.0 |
| 教員   | 7  | 15 | 12 | 2 | 0 | 0   | 3.8 | 0.0 |

#### ③学校からの様々な情報提供はどうでしたか

|      | 5  | 4  | 3  | 2  | 1 | 未回答 | 平均値 | 前年比  |
|------|----|----|----|----|---|-----|-----|------|
| 保護者等 | 46 | 93 | 67 | 10 | 3 | 3   | 3.8 | △0.1 |
| 教員   | 8  | 16 | 10 | 2  | 0 | 0   | 3.8 | 0.0  |

#### ④いじめの早期発見のための取り組みとその後の対応はどうでしたか

|      | 5  | 4  | 3   | 2 | 1 | 未回答 | 平均値 | 前年比  |
|------|----|----|-----|---|---|-----|-----|------|
| 保護者等 | 36 | 71 | 103 | 5 | 2 | 5   | 3.6 | 0.0  |
| 教員   | 4  | 16 | 13  | 2 | 0 | 1   | 3.6 | ▼0.2 |

#### ①全体PTA関係(総会・評議委員会等)の取り組みはどうでしたか

|      | 5  | 4  | 3   | 2 | 1 | 未回答 | 平均値 | 前年比  |
|------|----|----|-----|---|---|-----|-----|------|
| 保護者等 | 40 | 79 | 100 | 0 | 0 | 3   | 3.7 | △0.1 |
| 教員   | 11 | 17 | 7   | 1 | 0 | 0   | 4.1 | △0.2 |

#### ②地区PTA関係(地区懇談会・ボランティア等)の取り組みはどうでしたか

|      | 5  | 4  | 3  | 2 | 1 | 未回答 | 平均値 | 前年比  |
|------|----|----|----|---|---|-----|-----|------|
| 保護者等 | 36 | 59 | 48 | 4 | 0 | 75  | 3.9 | △0.2 |
| 教員   | 8  | 10 | 6  | 3 | 0 | 6   | 3.9 | ▼0.1 |

#### ③学習指導(授業・定期考査・課題等)の取り組みはどうでしたか

|      | 5  | 4  | 3   | 2 | 1 | 未回答 | 平均値 | 前年比  |
|------|----|----|-----|---|---|-----|-----|------|
| 保護者等 | 31 | 77 | 101 | 8 | 2 | 3   | 3.6 | ▼0.1 |
| 教員   | 5  | 19 | 9   | 3 | 0 | 0   | 3.7 | 0.0  |

#### ④お子さんの家庭学習への取り組みはどうでしたか

|      | 5  | 4  | 3  | 2  | 1  | 未回答 | 平均値 | 前年比  |
|------|----|----|----|----|----|-----|-----|------|
| 保護者等 | 21 | 42 | 82 | 60 | 16 | 1   | 3.0 | ▼0.2 |
| 教員   | 0  | 1  | 19 | 13 | 3  | 0   | 2.5 | 0.0  |

#### ⑤生徒指導(身だしなみ・交通安全等)の取り組みはどうでしたか

|      | 5  | 4  | 3  | 2  | 1 | 未回答 | 平均値 | 前年比  |
|------|----|----|----|----|---|-----|-----|------|
| 保護者等 | 39 | 77 | 94 | 10 | 1 | 1   | 3.6 | ▼0.1 |
| 教員   | 1  | 8  | 19 | 6  | 1 | 1   | 3.1 | ▼0.2 |

#### ⑥部活動指導はどうでしたか

|      | 5  | 4  | 3  | 2  | 1 | 未回答 | 平均値 | 前年比  |
|------|----|----|----|----|---|-----|-----|------|
| 保護者等 | 41 | 65 | 89 | 18 | 5 | 4   | 3.5 | ▼0.2 |
| 教員   | 2  | 13 | 17 | 4  | 0 | 0   | 3.4 | 0.0  |

#### ⑦進路指導(就職・進学・公務員等)の取り組みはどうでしたか

|      | 5  | 4  | 3  | 2  | 1 | 未回答 | 平均値 | 前年比  |
|------|----|----|----|----|---|-----|-----|------|
| 保護者等 | 34 | 69 | 99 | 15 | 2 | 3   | 3.5 | ▼0.2 |
| 教員   | 7  | 16 | 11 | 2  | 0 | 0   | 3.8 | ▼0.2 |

#### ⑧お子さんの進路活動への取り組みはどうでしたか

|      | 5  | 4  | 3   | 2  | 1 | 未回答 | 平均値 | 前年比  |
|------|----|----|-----|----|---|-----|-----|------|
| 保護者等 | 28 | 47 | 112 | 27 | 4 | 4   | 3.3 | ▼0.3 |
| 教員   | 3  | 13 | 18  | 2  | 0 | 0   | 3.5 | ▼0.1 |

#### ⑨保健活動(健康・安全・衛生等)の取り組みはどうでしたか

|      | 5  | 4  | 3   | 2 | 1 | 未回答 | 平均値 | 前年比  |
|------|----|----|-----|---|---|-----|-----|------|
| 保護者等 | 35 | 65 | 111 | 6 | 1 | 4   | 3.6 | ▼0.1 |
| 教員   | 12 | 13 | 10  | 1 | 0 | 0   | 4.0 | ▼0.1 |

#### ⑩個別指導・カウンセリング・特別支援教育等の取り組みはどうでしたか

|      | 5  | 4  | 3   | 2 | 1 | 未回答 | 平均値 | 前年比 |
|------|----|----|-----|---|---|-----|-----|-----|
| 保護者等 | 28 | 56 | 122 | 9 | 1 | 6   | 3.5 | 0.0 |
| 教員   | 10 | 14 | 10  | 2 | 0 | 0   | 3.9 | 0.0 |

## 三年間を振り返って

三年主任 松田 誠樹

三年生の保護者等の皆様、お子様のご卒業誠にありがとうございます。また、これまで学校や学年の運営や指導に對して、ご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。これまでの三年間を振り返りますと、令和三年四月の入學式から今日の卒業式まで、この間に、お子様たちは人間的に大きく成長し本日を迎えております。

三年間に様々なことがありましたが、三年生に高校生活のすべてが凝縮されているように感じます。三年生として、各自の進路等の目標達成に向けて努力することに加えて、最上級生として後輩たちの先頭に立ち生徒会や部活動をけん引するという立場になり、それぞれが様々な場面で活躍



しました。迎えた就職・進學試験でも一人ひとりが努力を積み重ね、また保護者等の皆様からご指導とご支援をいただき多くの生徒が第一志望の企業や学校に合格することができました。また、合格後も努力を惜しまず課題研究等に意欲的に取り組み、各科の課題研究発表会では一人ひとりがそれぞれの研究を自分の言葉で発表し大きく成長した姿を見せてくれました。

お子様一人ひとりがこの三年間で学んだことや育んだ級友との友情は将来大きな財産となります。これから寒河江工業高校で学んだことを糧とし、様々なことに挑戦しさらに成長することを期待しています。

## 生徒指導部より

生徒指導部長 天野 吉貴

今年度は、感染法上の五類に引き下げられつつも、引き続き感染防止対策を施しながら様々な活動に取り組むことができました。この一連の活動は、皆さまの御支援と御協力のおかげで無事に終えることができました。心よりお礼申し上げます。

地区高校総体では、陸上競技三段跳びで優勝し、東北大会への出場を果たしました。さらに、村山地区高等学校弓道錬成大会男子団体優勝、県高校総体弓道大会では第三位に輝きました。工業の大会では、



## 保健部より

養護教諭 河村 邦子

新型コロナウイルス感染症の取り扱いが、感染症法上二類相当から五類に引き下げられたのは、令和五年五月八日のことです。保護者等の皆様には、

コロナ禍における健康管理への御協力を頂き、心より御礼申し上げます。学校においても、三年ぶりに多くの生徒の素顔が見られる日常が戻ってきました。しかしながら、



規制が緩和されてもこの感染症がなくなつたわけではなく、本校においても多くの感染者がみられました。九月までは、感染症による出席停止の八割程度が新型コロナウイルス感染症によるものでしたが、十月に入るとその割合は二割に減り、逆にインフルエンザによる出席停止が七割となりました。九月と十一月には感染症の集団発生もありましたが、ご家庭の協力を得て学級閉鎖の措置を講じ、学校全体への感染拡大を防ぎ、



学校行事も滞りなく実施できました。各学年の思春期セミナーも、対面実施できました。どの学年も、性と生をテーマにした内容ですが、育児の喜びと苦労、パートナーとの協働について考える貴重な機会となりました。次年度は新校舎での学校生活が始まります。心身の健康管理、安全管理、保健教育に努めてまいりますので、引き続き御協力をお願い申し上げます。

## 活動を振り返って

前生徒会長 渡邊 蓮



こんにちは、前期生徒会長の渡邊蓮です。私が生徒会長に立候補し、一年、そして寒河江工業高校に入学し三年が経とうとしています。この三年間、私は勉強や部活動、そして生徒会活動を通して様々な経験をすることができました。また、今年度は寒河江工業が創立六十周年ということで寒河江市市民文化会館で創立記念式典を行いました。この記念すべき年に生徒会長を務められたこと、私はとても嬉しく思います。

今年度は、多くの行事を規模を拡大して執り行うことができました。寒工祭は一般公開もあり、多くの方に来場していただきました。そのため、各クラスの出店は大忙しで、待ち時間があるクラスも多々ありました。生徒会の運営もやりがいのあるものだったといえると思います。

この一年間様々な経験を積み、多くのことを学ばせてもらいました。とても濃い一年で私の高校生活の思い出の大部分を占めるような一年でした。本当にありがとうございました。



## 「電子機械科」から 「ロボットエンジニア科」へ

科長 伊藤 亨

令和五年度入学生から「電子機械科」の名称を「ロボットエンジニア科」へ変え、新たな年度がスタートしました。現在、電気と機械を同時に学び、その融合した学習を探究できるのは山形県内では本校だけとなりました。電子機械科は令和五年度末で閉科の予定。そこで、新校舎の建設に併せ、県内唯一の電子機械系学科として、実技授業における学習内容を見直し、F A ロボット実習装置、レーザー加工実習装置、二足歩行ロボットなどを新たに導入し、次の時代に即した学習内容を計画しています。

今年度の活動を振り返ると、「マイコンカーラリー山形県大会」において、学校対抗・カメラ部門での準優勝、ベーシック部門の奨励賞と成績を残すことができました。また、進路活動では、電子機械科三年生全員の進路先が十二月上旬に決定し、喜ばしい限りです。特に今年度の特徴としては、山形県立産業短期大学の希望者が多く、受験日も早期になりましたが、計画的な受験対策が功を奏し、全員合格となりました。

いよいよ令和六年度は新校舎が完成し、新たな寒河江工業高校の幕開けとなります。本学科も、生徒、産業、地域のために更に貢献できるように努力して行きたいと思っています。



## 機械科 メカニカルエンジニア科

科長 高橋 直人

今年度、本校は創立六十周年を迎えた。その長い歴史を刻んだ跡が数多く残っている。機械科という学科名もこれまで変わることはなかったが、本年度入学生からメカニカルエンジニア科と学科名が変更となり新しい歴史がスタートした。機械(Machine)とメカニカル(Mechanical)の頭文字をとって通称M科と呼んでいる。

M科の実習工場には多くの工作機械がある。たとえば旋盤、フライス盤、ホブ盤、形削り盤、研削盤、マシニングセンタ、NC旋盤などである。その機械は、令和に作られたものから昭和四十年代に作られたものまで様々である。寒工祭の一般公開では、多くの方から見学していただきその歴史を肌で感じていただいた。

本年度も生徒たちはさまざまな場面で活躍した。十月に行われた第七回やまがた高校生ロボットコンテストでは工業研究部の生徒が出場し見事、準優勝



に輝いた。また、三年生の課題研究班を中心に「小学生対象のものづくり教室」「寒河江市発明クラブへの体験教室」「左沢高校とのキャンパス制交流事業への出展」など地域との交流も活発に行った。これらをとおり、多くの方々にもものづくりの楽しさやすば

らしさを伝えることができた。いよいよ来年度から新校舎での学びがはじまる。校舎が新しくなっても、これまで多くの卒業生が残した機械科の歴史を引き継ぎながら、機械科/メカニカルエンジニア科のさらなる発展を期待します。

## 生徒会長として

新生徒会長 佐藤 丈



この度、新生徒会長に就任した、二年電子機械科の

佐藤丈です。昨年度は、生徒会常任委員として活動してきました。私は、生徒会活動を通して、感じたことやこうしたいと思ったことをもとに、学校をよりよくしていきたいと思っています。執行部だけでなく生徒の皆さんから意見をたくさんもらい、それを実現するために生徒会があると思います。そのためにも、意見箱利用の活発化、学期末ごとのアンケートの実施、この二つに取り組んでいきたいと思っています。

この二つを実行するために、色々なことを試していかなければなりません。まずは実際に意見箱を置いてみたり、集まった意見を掲示してみたり等、多くのことに挑戦し、改善を繰り返して皆が来々なる学校にしていきたいと考えています。新校舎になるタイミングだからこそ、この学校をよりよく創りあげていきます。これからの生徒会に期待していただき、応援のほどよろしくお願いいたします。

## やまがた高校生ロボットコンテスト

工業研究部機械顧問 大類 芳弘

今年度の工業研究部機械班は、三年生が二名、二年生が四名、一年生が五名、合わせて十一名で活動してきました。

今年度、部活動開始に話し合い、三年生と一年生はメカトロアイディアコンテストに出場予定、二年生はやまがた高校生ロボットコンテストに出場する予定でした。自分達が出場しない大会でもロボット製作、配線、部品作製等を手伝い、他にオールブンスクールで使用する材料の準備もあり、夏



## 進路指導部より

進路指導部部長 佐々木裕章

希望進路を実現させた三年生の皆さん、内定・合格おめでとございます。

今年度の進路状況を報告します。三年生の在籍数は七七名、公務員を含めた就職が、四三％（昨年度五五％）、進学が五五％（昨年度四五％）となっています。本校の特徴として、これまでは就職希望者が多い傾向にありましたが、今年度は進学を希望する割合が大幅に増えました。民間就職内定者は三二名、県内が二八名、県外が四名で、就職希望のほとんどの人が自宅から通勤できる県内企業を希望するなど地元志向が顕著です。

県内求人件数は三二七件（昨年度三二〇件）。企業の若手人材確保の意向が強く表れ、製造業や建設業を中心に多くの求人が

休みも毎日部活動を頑張っていたと思います。

そして九月二十三日にメカトロアイディアコンテストを終えて、やまがた高校生ロボットコンテストに向け二年生を主体にロボット製作を始めようとしたときに、十一月十八日は二年生が修学旅行で出場出来ない事に気付いて二年生には非常に申し訳なかったですがロボット製作の補助と、十一月四日に行う、さがえ少年少女発明クラブin寒河江工業高校に向けた準備をしてもらいました。

やまがた高校生ロボットコンテストには三年生一名、一年生三名の四人で出場することになり、ロボット製作は昨年度のロボットをベースにアームを三本上下させる機構を取り付け、タイヤを変えたり、モーターの回転数を変えたり、思考錯誤しながら大会三日前にやっと完成し

ました。それから、大会の前日まで操作練習や戦術などを先生方にアドバイスを受け考え練習して頑張った結果、準優勝しました。

来年度は全員が出場して、さらなる成長を期待します。

## ITエンジニア科の活動として

科長 鈴木わか奈

今年度の課題研究は「眠っている興味・関心を見つけよう!!」をテーマに八つの課題に取り組んだ。

今年度から始まった県工業高校情報科合同発表会では『学校のデジタル機器を活用しよう』を発表し、高評価を得ることができた。

継続して行ってきた『海ゴミロボットの製作』は四年目を迎え、フューチャープロジェクトとタイアップし、那須電機機様

進路については生徒数減等により希望が叶いやすい状況になつていますが、学ぶ目的や修了後の就職についても慎重に検討して選ぶことが大事です。また、国・公立大学への進学は依然として難易度が高く、自分をPRできるための材料や体験書いたり話したりする力も必要になってきています。入試方法も多様化し、早めに希望校、受験方法を考え、対策を練ることが大切です。

今年度も多くの方々に支えられ、進路・就職ともに三年生の頑張りが表れた進路活動、内定状況となりました。関係の皆様には心より感謝申し上げます。



のご協力のもと試行錯誤しながら、本格的な製作を行うことができました。また、ロボットアイデア甲子園では、考案した産業用ロボットのアイデアが東北大会出場の一十九名に選ばれ、『漂流ゴミ回収ロボット』の発表を行い、審査員特別賞・デンソーFA山形賞を受賞することができました。この活動は、山形放送の企画『やまがたものづくり応援ウィーク』において、ラジオ番組出演、テレビCMでも紹介されている。

部活動では、地域交流、現校舎の記録収集、3Dプリンタの製作を行った。地域交流では寒工祭を通して、ドローン操作とデザイン制作を行った。さがえ少年少女発明クラブの講座では「デザインを楽しもう」というテーマで協力ができた。個々の活動として、技能検定やITパスポート試験、電気工事士などの国家資格に取り組み、活動の積み重ねが自信につながり、自己肯定感を高めるきっかけとなつている。



## 二年生を振り返って

一学年主任 小笠原哲志

今年度の二年生で特筆すべきことを二つ挙げたいと思います。一つ目は、七月に実施したインターンシップです。多くの事業所にご協力をいただき、三日間就業の体験を積ませていただきました。生徒にとっては非常に刺激的かつ示唆に富む時間だったようで、これを機に進路について本格的に考え始めたという話をよく聞きます。

二つ目は、十一月に実施した修学旅行です。関西に出かけるのが初めての生徒も多く、清水寺、海遊館、USJといった見学場所を目を輝かせていた様子は、未知のものを徹底的に堪能しようとする気概にあふれていました。また、皆が楽しそうに京都市内班別自主研修の計画を立てて実行する姿に、自主性・主体性の高



まりを感じることができました。これら二つの行事は、生徒たちが中学生の時期は、新型コロナウイルスによる制限のせいで十全な実施が不可能だったと思います。高校でそれらを体験することで、生徒たちには大きな達成感・充実感を得てもらえたのではないかと思います。また、コミュニケーション能力や積極性、主体性等、多くの力を伸ばすことができたことと確信しております。

来年度はいよいよ勝負の年・進路決定の年です。生徒・担任団が一丸となつて進路実現へ向かっていきたいと思っております。